

(4) 各教科の授業改善の取り組み

教科	取り組み
国語	育てたい資質・能力
	自分の考えを <b>的確に表現する力</b> をつける。
	そのための取り組み グループ活動や話し合い活動を積極的に取り入れる。
社会	育てたい資質・能力
	・様々な社会事象に対して、ものごとを多角的・多面的にとらえ、 <b>資料をもとに適切な判断をし、それを表現できるようにする。</b> ・人権・平和・主権在民といった日本国憲法の理念をふまえ、現代社会の <b>課題を理解し、改善するための思考・行動力</b> を持たせるようにする。
	そのための取り組み ・資料をもとに <b>意見交換する機会</b> を多く設ける。 ・グループワークや意見文の交流など様々な方法で、 <b>たがいの考え方に触れる機会</b> をつくる。 ・社会の当事者として考えられるような資料を提示し、 <b>常に「なぜか？」という問題意識を喚起する。</b>
数学	育てたい資質・能力
	持っている <b>知識や情報を活用しようとする能力</b> を伸ばす。
	そのための取り組み ・発表の機会を増やして他の生徒の考えにより多く触れ、考え方の幅を広げさせる。 ・ <b>グループ活動、発表の機会</b> を設ける。
理科	育てたい資質・能力
	<b>主体的に</b> 観察・実験をし、結果等を自ら <b>考察できる能力</b> を育てる。
	そのための取り組み グループでの話し合い活動を通して、お互いの考えを引き出し、考察を深め、 <b>発表する機会</b> を設ける。
音楽	育てたい資質・能力
	音楽活動の楽しさを体験させ、 <b>音楽を通して自己表現し、仲間と調和する能力</b> を育てる。 <b>主体的に</b> 鑑賞する能力を育てる。
	そのための取り組み 歌唱、器楽で合唱やアンサンブルを行い、毎回の授業でハーモニーを感じさせることに徹する。鑑賞では音楽の要素を表現する言葉を <b>意見交換</b> から学ばせる。
美術	育てたい資質・能力
	題材に対して自ら <b>課題を設定し、主体的に計画的に</b> 表現活動・鑑賞活動に取り組む生徒を育てる。自他の作品を尊重しあい、メッセージ <b>感じ取ったり、伝えあったりできる能力</b> を養う。
	そのための取り組み 毎時間のねらいの設定、自己評価カード(自己の課題設定と次回への構想)、生徒同士の相互鑑賞活動、鑑賞だけの時間の設定、ICT機器の活用
保健体育	育てたい資質・能力
	・自らの行動を通して、周囲の状況を見て <b>様々なことを予測する力</b> を身に付ける(危険を察知する能力を高める)。 ・自分に合った <b>課題の設定し、自ら考え行動し、解決する力。</b> ・個に応じた学習の取り組み。
	そのための取り組み ・授業の中で <b>生徒同士がお互いにアドバイス</b> しあったり、評価ができる場面の設定。 ・ <b>学習カード</b> は単元計画や毎時間の <b>目標、振り返りができるもの</b> を活用し、見通しが立てられ振り返りができるようにし、なるべく <b>コメントを添えて返せるようにしていく。</b> ・ICTや学校図書室の活用。
技術・家庭	育てたい資質・能力
	自立と共生を目指し、生活の中の問題に向き合って <b>課題を見つけ、解決する力</b> を育てる。
英語	育てたい資質・能力
	生徒一人ひとりが読む、書く、聞く、話す(=四技能)をバランスよく身につけ、間違いを恐れず <b>積極的に英語でコミュニケーションを取れる。</b>
	そのための取り組み 教科書の理解だけでなく、スピーチやリスニング、作文など様々な <b>アクティビティ</b> に取り組んでいく。